

# 宮陵会報

# Kyuu-Ryo

2024・7  
(令和6)

## No.118

一般社団法人  
神奈川大学宮陵会  
広報委員会

〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学内  
TEL 045-481-5661  
(内線 2451~3)  
FAX 045-413-0791  
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



「みなとみらいキャンパス側から刻を振り返る」(絵 渡邊 恵子)

### 目次 No.118

定時社員総会報告	P2
事務局からのお知らせ、代議員選挙について、表彰者芳名、表紙のことばなど	P3
2023年度事業報告・決算、2024年度事業計画・予算	P4
Masumi Yamamoto & 「TLQ Plus」コンサートの報告	P5
活躍する卒業生(三橋英之さん)	P6
活躍する卒業生(飯田学史さん)	P7
活躍する卒業生(松井章さん)	P8~P9
観光宮陵会参加者募集中、「神奈川大学信州宮陵会」(仮称)の発足について	P10
「横浜6大学同窓会交流会」発足	P11
トピックス「念願の歌手デビューを果たして」 小林金雄さん	P11
卒業生の声	P12
卒業生の声「旧交を温めました」	P13~P14
揭示版(漫画研究部、宮陵会主催「秋の講演会」、神奈川大学音楽祭)	P14
「宮陵」(No.73)の感想	P15
アンケート、ホームカミングデー、神大スポーツサイトリニューアル	P16



宮陵会事務局 からのお知らせ

◆ 会議予定

理事会 2024(令和6)年 9月27日(金)  
12月 6日(金)

◆ 夏季一斉休暇

2024(令和6)年 8月13日(火) ~ 8月16日(金)

◆ 地域組織新代表者紹介

島根県宮陵会 昭53機 出雲正樹 様  
愛媛県宮陵会 昭61建 友澤慎一 様

■ 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

2024(令和6)年6月4日  
根来道德 様(昭37法) 元大阪府宮陵会会長  
2024(令和6)年6月20日  
山内富親 様(昭47経) 岡山県宮陵会会長



表紙のことは

題名「みなとみらいキャンパス側から刻を振り返る」  
2024(令和6)年7月制作 F10号

創立100周年記念シリーズ2。「みなとみらいキャンパス」から見える、掃部山の麓にあったという横浜学院(神奈川大学の前身)を、時間の経過を表す時計台の隙間を通して見た。その後ろの丘の上にあるのは、96年後の現横浜キャンパスの1号館。富士と海は、昔と変わらずにある。  
渡邊恵子(宮陵会理事 1977年法学部法律学科卒)

◆ 事務局よりお願い

【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。会費が未納の場合は、会員資格が「普通会員」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。詳細につきましては、同封の「会費納入要領」をご参照ください。

【住所等の変更について】

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

- ① 神奈川大学ホームページ  
卒業生登録情報登録・変更のご案内  
([https://www.kanagawa-u.ac.jp/alumni\\_menu/registration/](https://www.kanagawa-u.ac.jp/alumni_menu/registration/))
- ② FAX 045-413-0791
- ③ E-mail  
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



※登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報の重要性を深く認識し、個人情報保護方針に従い適正な保護管理に努めています。

代議員選挙について

1. 代議員の定数  
210人(定款第11条第1項、代議員選任規程第3条)

2. 代議員の任期  
2025年2月1日~2027年1月31日  
(定款第11条第5項)

一般社団法人神奈川大学宮陵会の「総会(社員総会)」は、正会員の選挙によって選出された代議員(11社員)で構成され、その代議員は、正会員からの立候補者と代議員候補者推薦委員会から推薦された候補者のなかから正会員による選挙で選ばれます。

現在の代議員が2025年1月31日をもって任期満了になりますので、定款第11条並びに代議員選任規程に基づき、次期代議員を選出する選挙を下記のとおり実施します。

代議員選挙の選挙権、被選挙権のある正会員とは、「選挙年度の4月1日現在、住所が判明し、定款に定められた会費を納入している会員」ですが、代議員選挙管理委員会が定める期日(2024年10月31日)までに、正会員資格の判断基準である、住所の届出並びに会費の納入の継続を行うこと等により、代議員に立候補または推薦人となる資格を有する者とみなすことができますので、申し添えます。

記

3. 選挙日程

- ① 選挙の公示 2024年8月1日(木)
  - ② 立候補の受付期間 2024年10月1日(火) ~ 10月15日(火)(消印有効)
  - ③ 候補者の公示 2024年12月2日(月)
  - ④ 投票期間 2025年1月15日(水) (消印有効)まで
  - ⑤ 当選者の公告 2025年2月1日(土)
- ※代議員候補者が定数を超えない場合は、投票を行います。
- 代議員選挙の詳細につきましては、「代議員選挙のお知らせ」(正会員に同封)または宮陵会ホームページの公示をご覧ください。
- 会員種別につきましては、「会費の納入について(お願い)」の【会費納入要領】の最後に記載いたしました。



表彰者芳名

■ 功勞表彰(表彰規程第2条第2号該当)

本部関係

三縄昭男様 昭和43年経済学部貿易学科卒業  
元監事

地域組織関係

橋爪修三様 昭和43年法学部法律学科卒業  
元北見宮陵会会長・副会長

中村郁夫様 昭和50年経済学部貿易学科卒業  
元香川県宮陵会会長・事務局長

村上東司様 昭和40年工学部機械工学科卒業  
元箱根町宮陵会会長・事務局長

稲木英生様 昭和35年工学部機械工学科卒業  
元西多摩宮陵会会長

■ 感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)

本部関係

手塚 正様 昭和60年外国語学部英語英文学科卒業  
元理事・体育振興委員長

地域組織関係

佐藤隆良様 昭和37年法経学部経済学科卒業  
元札幌宮陵会会長・副会長

山辺利雄様 昭和42年工学部機械工学科卒業  
元北見宮陵会事務局長

和田英光様 昭和41年経済学部貿易学科卒業  
元山形県宮陵会副会長

松尾勇治様 昭和39年法経学部経済学科卒業  
元大分県宮陵会副会長

篠原政行様

昭和50年工学部工業経営学科卒業  
群馬宮陵会会長・元副会長

下川洋司様

昭和42年経済学部貿易学科卒業  
元保土ヶ谷・旭区宮陵会副会長

鈴木和夫様

昭和46年第一法学部法律学科卒業  
元三浦半島宮陵会会長

■ 特別表彰(表彰規程第2条第4号該当)

内藤未唯様

人間科学部人間科学科4年  
第102回関東学生陸上競技大会

10000mW 優勝

第25回アジア陸上競技選手権大会  
女子20km競歩 4位

第60回全日本35km競歩高島大会  
一般女子35km競歩 優勝

(日本歴代3位の記録)

石原愛依様

令和6年人間科学部人間科学科卒業  
第99回日本学生選手権水泳競技大会  
女子200m平泳ぎ 優勝

女子200m個人メドレー 2位

第40回日本パラ水泳選手権大会  
50m自由形(S13) 優勝

50m背泳ぎ(S13) 優勝

令和6年人間科学部人間科学科卒業  
第99回日本学生選手権水泳競技大会

女子1000m背泳ぎ 優勝

女子2000m背泳ぎ 優勝

2023年度 事業報告

- 2023・2024年度の役員(理事 20名・監事 3名)を選任する選挙を実施した。
- 給付奨学金として学部生4名及び大学院生7名に対して、3,413,750円の奨学金を給付した。
- 地域組織ブロック会開催時に、その地域出身の準会員を対象に参加希望者を募り交通費等は宮陵会負担で派遣する事業において、6ブロック14名の準会員を派遣した。(801千円)
- 財政改革実施特別委員会を設置し、本委員会への諮問事項である「法人との相互依存関係の再検証」、「現行の会費制度運用の検証と収支均衡に向けた実効計画の策定と実行」を遂行するための議論がなされた。
- 地域組織拡大・強化特別委員会を設置し、本委員会への諮問事項である「横浜市内及び神奈川県内の未組織地域の組織化」、「地域組織に関する支援制度の検証と新たな支援制度の検討」を遂行するための議論がなされた。

2024年度 事業計画

- 2025・2026年度代議員を選出するための選挙の実施。
- 財政改革実施特別委員会及び地域組織拡大・強化特別委員会における審議の継続と施策の遂行。
- ホームカミングデーや神大フェスタの開催時における、宮陵会館を利用したイベントの企画立案と運用。

詳細は宮陵会ホームページでご確認いただけます。

正味財産増減補正予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで (単位:円)

科 目	予 算 額	補 正 額	補正予算額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 財産運用益	2,000		2,000	
基本財産受取利息	(1,000)		(1,000)	
特定資産受取利息	(1,000)		(1,000)	
② 受取会費	116,730,000		116,730,000	
正学生会費	(6,380,000)		(6,380,000)	
準学生会費	(110,350,000)		(110,350,000)	
③ 雑収益	305,000		305,000	
受取利息	(5,000)		(5,000)	
雑収益	(300,000)		(300,000)	
経常収益計	117,037,000	0	117,037,000	
(2) 経常費用				
① 給料手当	8,280,000		8,280,000	
退職給付引当金繰入額	292,000		292,000	
福利厚生費	1,100,000		1,100,000	
会議費	310,000		310,000	
旅費交通費	4,300,000	140,000	4,440,000	
通信運搬費	48,275,000	20,000	48,295,000	
消耗品費	985,000	1,500,000	2,485,000	
印刷製本費	11,530,000		11,530,000	
慶弔費	2,200,000		2,200,000	
賞状費	410,000		410,000	
慶弔費	460,000	150,000	610,000	
支払負担金	6,300,000		6,300,000	
支払助成金	13,700,000		13,700,000	
支払寄付金	5,248,000		5,248,000	
支払奨学金	4,000,000		4,000,000	
支払委託費	3,330,000		3,330,000	
雑費	230,000		230,000	
事業費計	110,950,000	1,810,000	112,760,000	
② 管 理 費				
給料手当	8,280,000		8,280,000	
臨時雇用賃金	3,100,000		3,100,000	
退職給付引当金繰入額	292,000		292,000	
福利厚生費	1,100,000		1,100,000	
会議費	1,570,000		1,570,000	
旅費交通費	4,920,000		4,920,000	
通信運搬費	850,000		850,000	
減価償却費	44,000		44,000	
消耗什器備品費	200,000		200,000	
消耗品費	640,000		640,000	
印刷製本費	620,000		620,000	
慶弔費	1,200,000		1,200,000	
賞状費	410,000		410,000	
慶弔費	420,000		420,000	
委託費	775,000		775,000	
支払手数料	390,000		390,000	
雑費	300,000		300,000	
管理費計	25,111,000		25,111,000	
経常費用計	136,061,000	1,810,000	137,871,000	
当期経常増減額	△ 19,024,000	△ 1,810,000	△ 20,834,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	△ 19,024,000	△ 1,810,000	△ 20,834,000	
一般正味財産増減額	327,868,011	27,185,152	355,053,163	
一般正味財産期首残高	308,844,011	25,375,152	334,219,163	
II 指定正味財産増減の部				
① 受取寄付金				
受取寄付金				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	308,844,011	25,375,152	334,219,163	

貸借対照表

2024年3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金	415,865	277,500	138,365
普通預金	55,387,770	49,935,396	5,452,374
通算預金	271,246	180,145	91,101
定期預金	212,000,000	212,000,000	0
前払金	16,000	22,000	△ 6,000
流動資産合計	268,090,881	262,415,041	5,675,840
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
奨学金積立資産	110,000	110,000	0
神奈川県立100周年積立資産	81,000,000	71,000,000	10,000,000
宮陵会設立90周年積立金	4,000,000	2,000,000	2,000,000
退職給付引当預金	3,695,196	3,355,168	340,028
特定資産合計	88,805,196	76,465,168	12,340,028
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	121,000	165,000	△ 44,000
その他固定資産合計	121,000	165,000	△ 44,000
固定資産合計	91,926,196	79,630,168	12,296,028
資産合計	360,017,077	342,045,209	17,971,868
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	888,319	464,219	424,100
前受金	18,000	12,000	6,000
預り金	362,399	163,811	198,588
流動負債合計	1,268,718	640,030	628,688
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	3,695,196	3,355,168	340,028
固定負債合計	3,695,196	3,355,168	340,028
負債合計	4,963,914	3,995,198	968,716
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	355,053,163	338,050,011	17,003,152
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(85,110,000)	(73,110,000)	(12,000,000)
正味財産合計	355,053,163	338,050,011	17,003,152
負債及び純資産合計	360,017,077	342,045,209	17,971,868

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 財産運用益	3,070	1,952	1,118
基本財産受取利息	(51)	(51)	(0)
特定資産受取利息	(3,019)	(1,901)	(1,118)
② 受取会費	122,753,000	119,961,000	2,792,000
正学生会費	(7,908,000)	(9,061,000)	(△ 1,153,000)
準学生会費	(114,845,000)	(110,900,000)	(3,945,000)
③ 雑収益	589,086	558,879	30,207
受取利息	(9,086)	(8,879)	(207)
雑収益	(580,000)	(550,000)	(30,000)
経常収益計	123,345,156	120,521,831	2,823,325
(2) 経常費用			
① 給料手当	8,737,952	8,765,939	△ 27,987
退職給付引当金繰入額	170,014	46,014	124,000
福利厚生費	1,485,753	1,396,737	89,016
会議費	637,050	2,160	634,890
旅費交通費	5,029,838	602,722	4,427,116
通信運搬費	32,889,728	31,726,014	1,163,714
消耗品費	485,335	6,724,111	△ 6,238,776
印刷製本費	8,628,916	8,833,684	△ 204,768
慶弔費	2,027,500	1,265,700	761,800
賞状費	372,900	346,500	26,400
慶弔費	440,343	133,644	306,699
支払負担金	6,300,000	3,000,000	3,300,000
支払助成金	10,178,905	6,224,728	3,954,177
支払寄付金	5,000,000	8,067,900	△ 3,067,900
支払奨学金	3,413,750	3,750,800	△ 337,050
委託費	275,454	382,285	△ 106,831
雑費	77,104	22,570	54,534
事業費計	86,150,542	81,291,508	4,859,034
② 管 理 費			
給料手当	8,737,952	8,765,940	△ 27,988
臨時雇用賃金	380,029	116,280	263,749
退職給付引当金繰入額	170,014	46,014	124,000
福利厚生費	1,485,753	1,396,737	89,016
会議費	923,572	138,741	784,831
旅費交通費	4,389,557	2,426,524	1,963,033
通信運搬費	683,437	629,636	53,801
減価償却費	44,000	44,000	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	508,529	565,931	△ 57,402
印刷製本費	395,422	558,617	△ 163,195
慶弔費	767,076	633,840	133,236
賞状費	372,900	346,500	26,400
慶弔費	409,640	409,640	0
委託費	559,290	651,204	△ 91,914
支払手数料	242,495	40,810	201,685
雑費	121,796	49,704	72,092
管理費計	20,191,462	16,820,118	3,371,344
経常費用計	106,342,004	98,111,626	8,230,378
当期経常増減額	17,003,152	22,410,205	△ 5,407,053
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産増減額	17,003,152	22,410,205	△ 5,407,053
一般正味財産期首残高	338,050,011	315,639,806	22,410,205
一般正味財産期末残高	355,053,163	338,050,011	17,003,152
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	355,053,163	338,050,011	17,003,152



学生の演奏や共演もあった

# 「凱旋ジャズコンサート」に勇気づけられる

小熊誠学長の歓迎あいさつで始まった神大英語英文学科卒業のジャズピアニスト・作曲家のMasumi Yamamoto（本名、山本真純）

さんの「凱旋ジャズコンサート」が6月19日、横浜キャンパスで開かれ、

学生を中心に卒業生や教職員など約300人が、その迫力ある力強い演奏に聴きほれた写真。

このコンサートには、山本さんが米国滞在中に米ジャズ界の大御所たちと結成したグループ「TLQ plus」のメンバー4人も米国から駆け付けた。（山本さんの活躍ぶりは、本年5月発行の『宮陵』No73号「夢を諦めないでいられるには どうしたら良いのですか」に掲載）

前座として、普段は課外活動で活動する「ジャズ研究所」と「カレッジ・サウンズ・オーケストラ」に所属する学生が演奏したほか、本番のコンサートでは山本さんたちのプログラムと共演する場面もあり、その都度、聴衆の大きな拍手を浴びた。

演奏会の曲と曲の合間に、山本さんが学生に語った「大学時代はたいへん迷った。しかし、自負心を持ち、自信を持ち、己を信じ、自分のやりたいことをやれば道は開かれる」ということばに、現役学生ばかりでなく、卒業後半世紀を経たかつての学生たちも大いに勇気づけられたのではないか。

当日参加してくれた卒業生から「妻と二人で聴いた。大迫力に圧倒され、感動した」「非常にいい内容だった。山本さんも学生に伝えたいことを伝えられたと思う。ステージに上がった学生だけでなく来場した多くの学生もひとつ、ふたつと得るものがあつたと思う。語りかけながら、時折、山本さんの涙ぐむ様子をみて、私も思わずもらい泣きしてしまった」など、その感激した声が寄せられています。

宮陵会初の主催事業として手探り状態で演奏会は実施出来たが、大学当局の全面的な力強い協力があったおかげです。

また、協力頂いた神奈川県川大学後援会の皆さんやコンサートを盛り上げてくれ、最後の片付けまで手伝ってくれ



学生に語りかける Yamamoto さん  
(元井欣一氏撮影)

た学生の皆さん、聴きにきてくださった皆さんに深く感謝します。  
山本さんら演奏者のさらなる活躍を祈念するとともに、宮陵会はこれからも学生や卒業生、大学とともに発展し、皆さまに期待され、頼りにされる組織を目指してまいります。



プロメンバーと共演する神大生たち（神大広報課撮影）

宮陵会副会長（広報委員会委員長）  
原柳作（1971昭和46）年外国語学部英語英文学科卒業



迫力ある演奏で観客を魅了した「TLQ plus」メンバーとYamamotoさん（元井欣一氏撮影）

# 吹奏楽が取りもつてくれた縁を大切に

栃木県宮陵会 会長 三橋 英之（63歳）



みはし・ひでゆき  
栃木県生まれ。1985(昭和60)年神奈川大学法学部法律学科卒業。卒業後母校作新学院高等学校に社会科教諭・吹奏楽部顧問として奉職。現在、栃木県吹奏楽連盟理事長、東関東吹奏楽連盟副理事長、全日本吹奏楽連盟正会員、神奈川大学吹奏楽部OB会長、栃木県宮陵会会長。

令和5年度第29回東関東吹奏楽コンクールで金賞を受賞した際の記念写真



私にとって、夏の風物詩といえ、ずばり吹奏楽コンクールですね。春夏秋冬それぞれの季節にはその時期ならではの旬がありますが、私の関わっている吹奏楽は、コンクールシーズンである暑い夏に旬を迎えます。夏が来るとなぜかワクワクして来るのは長い間この活動に関わってきたからです。振り返れば、ひよんなことから高校で吹奏楽部に入部し、すっかりその面白さにはまってしまい、神大でも吹奏楽部での活動を謳歌し、あつという間の4年間でした。もちろん、学業をおろそかにすることなくです。

（笑い）  
神大の吹奏楽部は私が入学する以前から大学の部では名門で、吹奏楽の世界では一目置かれる存在でした。音楽監督の小澤俊朗先生には随分しごかれました

が、吹奏楽部では主将を務め、全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞するなど結果を残すことができました。現在高校の吹奏楽指導者としてあるのは先生のおかげです。高校の教員として指揮し、全日本吹奏楽コンクール高校の部に2度出場を果たしました。これまで吹奏楽を通じてたくさんの方に出会い、多くの人脈を築くことができました。知り合った仲間は全国各地に存在し、互いに情報交換しながら高め合っています。また、私の教え子たちも40人ほどが神大吹奏楽部で活動し、良い成果を挙げるのに大きく貢献し、活躍してくれました。

私は現在、餃子で有名な宇都宮市にある作新学院高等学校に勤務しています。再任用ですが、いまだ担任を任せられ、社会科教諭・吹奏楽部顧問として忙しくも充実した日々を過ごしています。同一キャンパスに幼稚園・小学部・中等部も設置され、高校生は約3400人が在籍し、吹奏楽部員は100人ほど所属しています。さて、私が大学在籍時には2部の

学部が設置されおり、夜遅くまで大学内でさまざまな活動をする事ができました。しばしば守衛さんが施設の確認をしている場面に出くわし、随分迷惑をかけたりましたが、いろいろと融通をきかせてくれ、面倒を見てくれたことが思い出されます。クラブの主将であったことから学生部の方々にも随分お世話になりました。さまざま相談に行くのですが、親身になって解決のため奔走してくれました。入試センターでのアルバイトも良い経験になりました。また、授業では教育社会学の河上婦志子先生にはことのほかかわいがっていただき、合宿でのイベントで相手方を圧倒できたことは今の教員生活にも生かされています。

私は神奈川大学吹奏楽部のOB会長として、現役の学生の支援を続け、将来にわたって輝き続けるクラブであってほしいと願っています。また、栃木県宮陵会の会長も兼ねていますが、栃木在住の神大吹奏楽部OBが助けてくれ、再興することができました。この会には女性や若い卒業生も多く集っており、毎回総会や忘年会で再開し、楽しいひと時を過ごすのを皆さんが心待ちにしています。神奈川大学の卒業生でよかったと強く実感しています。創立100周年を控え、今後も神奈川大学の発展を心よりお祈りしております。

令和6年3月22日第96回選抜高等学校野球大会(甲子園)応援前の記念写真



令和6年7月13日栃木県宮陵会総会参加者の記念写真(前列右から4人目が筆者)

# 体験型研修 『法的交渉入門プログラム』

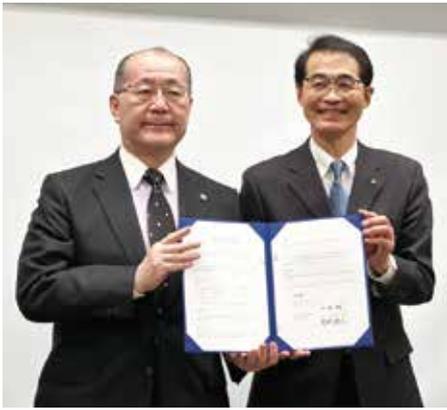
弁護士 飯田 学史 (51歳)



いいだ・さとし  
1972(昭和47)年生まれ。神奈川県平塚市出身。96(平成8)年法学部法律学科卒業、06(平成18)年大学院法務研究科(法科大学院)修了(1期生)。08年弁護士登録。11年から法学部非常勤講師(現在)、24年から関東学院大学法学部客員教授(現在)。22年度神奈川県弁護士会副会長。横浜はばたき法律事務所代表弁護士。

神奈川大学では多くの実務家が講師として教壇に立ち、学生たちの指導をしています。私も2011年から法学部の非常勤講師として教壇に立っています。今日は私が担当し、昨年からは始まった新しい授業「体験型研修『法的交渉入門プログラム』」の紹介をします。

神奈川大学の伝統に実学教育を挙げられています。私が担当している『法的交渉入門プログラム』は、23年3月に神奈川大学と神奈川県弁護士会が締結した包括連携協定に基づいてスタートした授業で、まさに実学教育を実践するものです。



23年3月に行われた包括連携協定調印式の写真。写真左が弁護士会高岡俊之会長(当時)、右が小熊学長。

この授業は、学生が市民生活の中で発生しうるさまざまな法律上のトラブルに対して、正確な情報に基づいて、冷静かつ論理的に相手方と交渉できる能力を身に付けることを目標としています。法学部に限らず、学部、学年を問わずに履修することができるようになっているのが特徴です。講義はすべて具体的なトラブルを検討していくというスタイルなので教科書も使いません。例示されたトラブルについていろいろと検討する中で、「何かこれを解決するルールはないだろうか」と考えてもらうスタイルなので、法律の予備知識ゼロでも履修でき、最終的には法的な交渉をする上での基礎が学べるように工夫しています。

授業では主に4つのテーマ(消費者問題、交通事故、労働トラブル、刑事事件)を扱うのですが、1つのテーマについて原則3コマ授業を行います。1コマ目は具体的な事例(トラブル)の紹介。2コマ目でその事例を解決するためのどのような法律が使えるかの学習、3コマ目で今回のトラブルを

解決するための方法を検討してもらいます。例えば、交通事故をテーマにした授業では、1コマ目で実際に起きた交通事故のドライブレコーダーの動画を見てもらい、この映像からどのような事実が読み取れるのかを検討してもらいます。2コマ目では相手方へ損害賠償請求するための民法の不法行為の要件や過失相殺といった法律の知識やルールを学びます。そして3コマ目では事故の双方の当事者であればどのような事実に基づいてどのような主張をするのか、映像から読み取った事実を「言葉」として伝えるにはどのように伝えるのがもっとも説得的なのか、このトラブルの解決方法とし



共通科目として開講している「法的交渉入門プログラム」の授業風景。この日は刑事模擬裁判を行った。



同じく、刑事模擬裁判の写真。検察官役の受講生が証拠に見立てたクリーナーを手に証言台に立つ被告人(神奈川大学法科大学院出身の大城弁護士)を尋問している。



もし皆さんが裁判員に選ばれたらどうするかをテーマに裁判員裁判のドラマを見て、被告人の重刑(実刑かそれとも執行猶予が相当か)を評議してもらった。

て何が妥当かをグループでディスカッションしてもらいます。  
体験型研修である本授業は、普段の座学の授業よりもより具体的な事件を取り扱うので実践的です。この授業を通して、学生たちが単にトラブルの解決法を学ぶだけでなく、世の中のトラブルには必ず原因があるということを知り、なぜトラブルが起きたのか、どうすればトラブルを回避することができたいのか、さらに事件の背景にある社会の仕組みとは何であるのかを考える切っ掛けになる授業となれば嬉しいですね。そのようなように工夫を重ねていきたいと思っています。

# モラトリウムに見いだす軽やかな野心

風景写真家 松井 章 (47歳)



標高 4000m の都市ラパスと聖山イリマニ (ボリビア)



ジェンツーペンギンの家族 (南極)

なかなか確固とした自分を見いだせない大学時代は、私にとって大切なモラトリウムでした。いわゆる「自分探し」の期間、たくさんの本を読み、アルバイトをして、旅をする中で、どうやって生きて行くかを考える日々でした。大学は学びの場であるのが大前提ですが、それと同じくらい自分の居場所やライフワークを見いだす貴重な期間でもあると思います。

スペイン語学科を選んだ理由は、幼少の頃から南米に憧れを持っていたためです。南米に行くためにはスペイン語を学ぶのが最短ルートだと思ったのは、とても良い判断でした。人生を決定づける分かれ道は、日常の中にたくさん潜んでいるものです。

大学2年生の冬休みに、いよいよ南米へ旅行します。目指すは、アルゼンチンとチリにまたがるパタゴニア地方です。南米最南端の当地は、南極の気候に左右される秘境です。初めての海外旅行でしたが、現地の人々は温かく、日本では見たことがない雄大なアンデスの山々と大きな空に魅了されました。そして、初めて手にした一眼レフカメラで、途方も無いスケールの風景を、夢中で撮影しました。この頃はまだまだデジタルカメラは無く、たくさん



まつい・あきら  
1977(昭和52)年東京生まれ。2000年外国語学部スペイン語学科卒業。学生時代から南米に通う。現在は南米専門の山岳旅行社を運営する傍ら、「南米大陸の幻想風景」をテーマに風景写真家として活動を続ける。日本写真家協会正会員。



パタゴニアの名峰フィッツロイ山と紅葉（アルゼンチン）



チチカカ湖に暮らすアイマラ族の女性とリャマ（ボリビア）



標高 4000m の都市ラパスと聖山イリマニ（ボリビア）



“虹の谷”ウマワカ溪谷のオルノカル山（アルゼンチン）

フィルムを持ち運んでいたのが懐かしいです。この旅行をきっかけに、自分の好奇心は世界に広がります。夏休みや冬休みに、アラスカや中南米各国へと、いわゆるバックパッカーとして巡り歩き、いつも写真を撮影していました。

大学卒業後、激流下りのラフティングガイドや大手旅行会社、海外登山・トレッキングの旅行会社で勤務して、社会経験を積みみます。そして、アンデスの山々へお客を案内する南米専門の会社を設立しました。山岳写真を目的とする顧客が多いこともあり、私の写真への情熱に再び火が付きまします。カメラを通して南米を見てみると、南米の自然の豊かさに改めて気づきました。日本の日常生活では全く知ることのないこの大きな風景を、写真を通して伝えたいと思い、「南米大陸の幻想風景」をテーマに写真家として活動を始めました。

写真家という職業は、誰でもなることができます。まず、世界に「私は写真家である」と名乗りを上げることが第一歩です。簡単に仕事の依頼が来るわけではないので、ひたすら地道に努力を続けることが秘訣（ひけつ）ではと思います。「自分を信じること」はとても大切です。

いま学生時代までを振り返れば、当時の南米と写真への情熱が、現在の自分まで一つの線でつながっていることに、改めて気づきます。あのとき、未来に抱いた野心のような希望を大切に持ち続けたおかげで、今の自分がいるのだと思います。

# 12月14日開催予定の「観光宮陵会」参加者募集中

観光宮陵会 事務局長 島川 崇

(国際日本学部国際文化交流学科観光文化コース教授)

2020年4月、国際日本学部が開設され、観光文化コースが新たに作られたことを機に、観光業界において神大のプレゼンスを高めていくという決意のもとで、観光関連産業に従事する方々の集う場として、観光宮陵会が設立されました。

2023年12月9日に設立総会を行い、卒業生の方々はもちろん、観光事業者に内定している4年生、観光文化コース教員も含めて、総勢44名のご参加をいただきました。総会には小熊誠学長、懇親会には久保清治宮陵会会長のご臨席も賜り、会を盛り上げていただきました。また、1

月16日には観光文化コース卒業発表会に多くの観光宮陵会メンバーがそれぞれの会社のオリジナルグッズや地域の名産品、ホテルの無料ペア宿泊券等の豪華な賞品をご用意してお越しになり、1期生たちは夢と志をもって観光業界へと羽ばたいていきました。

その後も、観光宮陵会では出会う仲間同士で会ったり、取引先に観光宮陵会のメンバーを見つけて、特別に便宜を図ったり、観光宮陵会をきっかけにいろんなつながりができたと大変うれしいご報告をいただいております。

ます。

観光宮陵会は、多くの方が集まりやすい会にしたいと願い、年会費制はとりません。会員の皆さんには、参加が義務的取り組みになるのではなく、都合がつくときに気軽にいらっしやうしてほしい、そんな会になったらいいなと思っています。

本年度は、12月14日(土)午後にみなとみらいキャンパスで実施します。総会、記念講演、懇親会を実施する予定です。卒業学部学科は問いません。観光に関連する方はどなたでも対象です。

ご参加希望の方は、以下の事務局アドレスまでメールをいただければ、実施概要が決まり次第、そのご案内をお送りいたします。また、ご質問、ご意見などございましたらなんなりとお送りください。

事務局メールアドレス  
kanko.kyuryukai@gmail.com

なお、去年参加されてメールアドレスを登録された方にはご連絡がなくても今年の概要が出来る次第お送りさせていただきます。



# 「神奈川大学信州宮陵会」(仮称)の発足について

長野県内の宮陵会地域組織は以前、「長野南信宮陵会」と「長野東北信宮陵会」があり、前者組織は2017年度に諸般の事情により組織解消となる一方、後者組織も2014(平成16)年度の活動を最後に休眠状態となっており、現在に至る状況でした。

しかしながら、2023年11月開催の宮陵会本部主催「全国地域組織代表者会議」の懇親会で、長野東北信宮陵会の宮坂会長の代理として出席した矢澤将良氏(昭55経)と宮陵会本部の佐藤武専務理事(昭56経)が長野県内の地域組織の再建などについて協議したことに端を発し、取消しとなった南信地域を含めた長野県全県を対象とした「神奈川大学信州宮陵会」(仮称)の発足に向け動き出したところとです。

なお、結成総会の詳細は、以下のとおりです。長野県内に住所登録いただいている会員の皆さまへ、本年8月中旬に結成総会のご案内状(往復ハガキ)をお届けいたしますので、ご確認のうえ多くの会員様のご出席をお願いいたします。



日時: 2024(令和6)年10月19日(土)

記念講演: 15:00~ 神奈川大学経営学部の湯川恵子教授(神奈川大学卒業生)を予定

総会議事: 16:15~

懇親会: 17:00~

場所: ホテル国際21 弥生(長野市県町576) 電話 026(234)1111

会費: 年会費(3,000円)、懇親会費(7,000円)

問合せ先: 信州宮陵会結成準備会 矢澤将良(Email: masayosi21212@gmail.com)

宮陵会(本部)専務理事 佐藤 武(Email: satout03@kanagawa-u.ac.jp)



# 「横浜6大学同窓会交流会」発足

村瀬 雅宣（如水会横浜支部長、昭和52年一橋大学社会学部卒）

昨年12月23日、宮陵会の会議室で、横浜エリアを中心に同窓会活動を展開する一橋大（如水会横浜支部）、東工大（蔵前工業会神奈川支部）、横浜国大（富丘会）、横浜市大（浜大会）、関東学院大（燦葉会）それに神大（宮陵会）の六つの同窓会執行部の17人が集まり、第一回「横浜6大学同窓会交流会」が発足しました。発足経緯は、如水会横浜支部と蔵前工業会神奈川支部とは過去から連携関係にあり、横浜市イノベーション協議会を通じて富丘会や浜大会、燦葉会、宮陵会は包括連携の関係にあります。

そこで、長谷部勇一横浜国立大学学長（当時）、小山巖也関東学院大学学長、小熊誠神奈川大学学長を訪ね、同窓会交流会発足の趣旨を説明し、同意を頂きました。そして富丘会と連携していた浜大会にも参加をお願いし、快諾いただきました。昨年4月、宮陵会の佐藤専務理事と意気投合したため、本交流会を発足することが出来ました。

目的は、それぞれの同窓会の所属する大学の目標と使命の達成に協力し、広く政治経済や社会文化の発展

に寄与するとともに、参加同窓会の親睦を図ること。加えて、国内外の地域や社会の課題解決やSDGsなど、社会貢献に連携して取り組むことに決定しました。

幹事役は輪番制として、今年度は富丘会となりました。本年5月9日には、横浜国大のOBがオーナーを務める横浜関内地区にある「横浜ビール（驛の食卓）」で懇親会を開催。26人の参加者で大いに盛り上がり、2時間があつという間に過ぎ去りました。

今後は互いの課題を持ち寄り、未来志向の社会貢献活動を行い、サステナブルな運営を目指して行くことになり、全員で集合写真を撮り、散会しました。



前列左から2人目が筆者

# 念願の歌手デビューを果たして

東京都 小林 金雄（69歳）

大学在学中は、学部講義以外に茶道部や文芸サークル、丹羽ゼミ（日本経済史）などに所属し、思い出に残る体験、交流、学習の場を頂きました。特に丹羽ゼミでは、亡き丹羽邦男先生や院生の指導を受けながら、明治維新期の東北農村の実態について、泊まり込みの現地調査を体験しました。

古文書読解や筆写にはゼミ生皆が悪戦苦闘しました。調査の取りまとめ作業は、野比研修所や教授研究室で分担して行い「かながわ論争」や日本学生経済ゼミナール大会で、発表することができました。貴重な体験を共有したゼミ仲間とは、今もグループラインを通じて連絡を取り合っています。

卒業後は都内の信用金庫に就職し、以来約45年の勤務を経て、22年退職しました。翌23年8月、オリジナル曲「故郷よ、夢はるかに」で念願の歌手デビューを果たしました。この曲は還暦の年に出版した自分史「わが人生に山あり歌あり明日あり」をベースに、作っていただいた望郷歌です。小さいころから歌が好きで、社会

こばやし・かねお  
1955（昭和30）年  
福島県奥会津に生まれる。78（昭和53）  
年経済学科卒業後、  
都内の信金に就職。  
22（令和4）年45年  
勤めた信金を退職し、  
翌23年歌手としてデビュー。



インターネットテレビ「鳥越アズリFM」にゲスト出演しました

人になつてからNHKのご自慢にたびたび応募（出場かなわず）したりして、レベルアップを目指しました。そして19年「第30回全日本カラオケ王座決定戦」に入賞したことが、夢の後押しとなりました。

「故郷よ、夢はるかに」は、郷愁を誘う楽曲として、好評をいただいています。68歳での歌手デビューとなりますが、人生100年時代（実父は101歳で健在）、新たなスタートとして頑張りたいと思います。

# 卒業生の声



多くの卒業生から

さまざまな声をお寄せいただきました。

## 免許証返納の

### タイミング

和歌山県 岡村 光惟(87歳)

1961(昭和36)年法経学部法学科卒業



自動車の運転免許証を取ってももう五十数年になる。車がとも好きです。定年退職後、家内と二人で、車で日本一周を二回、一人で一回した。北海道の旅は広大な自然と多くのすてきな人に接したことが、いつまでも忘れられません。昼時、田舎道を歩いてる人に食堂(店)の有無を聞くと、「この辺にはありません。わが家に来て家族と一緒に食べましょう」と誘われて、ごちそうになったこと。また和歌山ナンバーを見た店主は「遠くからです…ね」と言ってお寿司のサービスをしてくれました。

現役時代は事務系公務員だったが、興味もあって自動車の各種免許証(普通免許、大型免許、大型特殊免許、牽引免許、大型二輪免許)を取った。また車両系建設機械運転技能資格や

フォークリフト運転技能資格も取って、公私共それなりに頑張った。

しかし、昨今の社会事情は高齢者の事故多発で、免許証更新時の検査などが厳しくなった。私も年齢(1937年生まれ、87歳)からして、そろそろ返納するタイミングを考えている。しかし、私の住む地域(国道24号線)は2017年に乗り合いバスの運行が廃止になったりし、電車も運行回数が少なくなったことで、老人の生活がますます大変です。日々の生活用品を買うにはコンビニやスーパーが遠く、また農作業も車あつての生活です。もう少しそのまま続けたい。

しかし、運転席側のドアには「誓約、忠告あれば運転しません」とステッカーを貼り、助手席の案内に促している。今日も安全運転で頑張ります。

## 神奈川大学での

### 出会い

神奈川県 星 久史(75歳)

1971(昭和46)年 経済学部経済学科卒業



出身地が都道7県からなる森七郎ゼミナール(国際金融論)に所属した、同期13人は1971年3月、総合建設や地銀、総合印刷、弱電メーカー、生命保険、都市ガス、造船など、横浜の波止場から未知の海域へと船出しました。

卒業後は森教授を中心に、総会や地方会、同期会などで親睦を重ね、われわれ同期は60代半ばより毎年、首都圏在住者が地方在住者の同期を訪ね、旧交を温めてきました。森先生は常々、本当のゼミは、卒業してから始まるかと仰っていたことが、強く

印象に残っています。

私はゼミ以外にも下宿、クラブ及び日本経済ゼミナール神奈川大学大会実行委員会の同期のメンバーとの交流も続けています。私を含め各々同期のメンバーは退職後、それぞれ日展入選や投資研究、民俗学研究、古典再読、子息と北米東海岸を車で横断、楽器演奏、社交ダンスなど充実した日々を過ごしています。

私は昨年の夏、学生時代(四国、北海道一周)以来となる、ひとりリュックサックを背負い、現在住んでいる神奈川県から、ふるさと北海道(十勝)へ行って来ました。映る景色に思いを巡らすものがありました。

今、振り返ってみると、私は神奈川大学で多くの生涯の友との出会いがあり、このことを大学に感謝すると共に、大学のさらなる発展を期待しています。

## 卒業生の声「No.119」のご投稿をお待ちしております。

- ▽発行 24(令和6)年12月中旬
- ▽体裁 A4判、16ページ(予定)
- ▽部数 120,000部
- ▽字数 6000字以内
- ▽テーマ 自由(原稿は一部手直しすることがあります)
- ▽送付先 郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先(原稿確認のため、メールアドレス、電話番号(携帯電話も)を明記し、郵送の場合は、

T221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-17-1  
またはメールの場合は、  
kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp  
の神奈川大学宮陵会「云報119」係へ。

▽締め切り 24(令和6)年10月25日(金)。掲載分には記念品をお送りします。

## 情報をお寄せ下さい

国内外で活躍している卒業生(自薦、他薦)の情報や話題などをお寄せ下さい。年2回発行(8月と12月)の『宮陵会報』や年1回発行(5月)の『宮陵』で紹介します。

## 読者プレゼント

〈賞品〉

- ①神奈川大学箱根保養所 1泊2食付ペア宿泊券/3名
- ②KURO入り(100%シルク・12匁) 宮陵会オリジナルスカーフ/5名

〈応募方法〉

ご希望の方は、はがきに希望の賞品(①か②)と今号『宮陵会報』(No.118号)の感想、郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、卒業年・学科を書いて、T221-0802横浜市神奈川区六角橋3-17-1 神奈川大学宮陵会「読者プレゼント」までお送りください。

〈締め切り〉

24(令和6)年9月20日(金) ※消印有効。当選者(抽選)の発表は、賞品の発送(10月上旬)をもって代えさせていただきます。



## 発足後半世紀経つた 経理研究会を開催して

神奈川県

税理士法人コンタックス代表

今田 正紀 (76歳)

1970 (昭和45) 年経済学部経済学科卒業  
2004 (平成16) 年大学院経済学研究科  
経済学専攻博士前期課程修了

1968 (昭和43) 年に学生だった  
数人が立ち上げた「税務会計研究  
会」。その後、名称を「神奈川県  
経理研究会」に変更し、81 (昭和56)  
年まで活動したサークルのOB、OG  
の集いが5月12日、北海道や石川県、  
山口県などから25人が参加し、半世  
紀ぶりに横浜で開かれた。

もともと、職業会計人を目指そう  
としてスタートしたサークルだったの  
で、現在も税理士として活躍してい  
る方が6人もおりました。取り巻く  
会計事務所状況など新鮮な情報を  
交換でき、とても有意義な時間を過  
ごすことができた。参加者の一分間ス  
ピーチでは、当時の大学生活のエピ  
ソードや現在の近状報告までさまざ  
まだつたが、旧交を温めるのに十分な  
盛り上がりを見せた。そのサークル  
活動期間は十数年間だけだったもの  
の、皆が熱い想いで母校を見ているの  
を強く感じた。

私は以前、宮陵会役員を経験させ

ていただいたが、役員経験の有無に関  
係なく、OB、OGの皆さんの母校に  
寄せる潜在的な強い関心や母校愛を  
知り、改めて宮陵会からの情報発信  
の重要性を認識した次第です。



前列2列目右から4人目が筆者



## 全国規模の 「久木の会」は今回で閉幕

神奈川県 久木の会・会長

古川 勝彦 (81歳)

1965 (昭和40) 年法経学部経済学科  
卒業

恩師・故山口茂先生の長男(故・  
徹氏)の奥さま・みどりさんを迎え  
5月18日、市ヶ谷の私学会館(アルカ  
ディア)でコロナ禍の影響で6年ぶり  
20回目の「久木の会」総会が開かれ、  
全国から20人が参加した写真。先  
生の没後50年の節目でもあった。

山口茂先生(1893~1974)  
は、1929年から41年まで横浜専  
門学校の講師として「銀行及び金  
融」論を担当し、一橋大学退官後は  
神大経済学部教授や法経学部長、法  
人理事を務めた。「久木の会」とは、  
お住まいのあった逗子市久木からとつ  
たゼミOB会名であり、また先生は  
「ゼミの神大」と言われるゼミナール  
制度の導入に尽力された。先生には  
もう一つ、一橋大学教授時代のゼミOB  
会「山交会」もあり、両OB会メンバ  
ーを合わせると600人を超える。私  
たちは、この山交会との交流も続け  
てきた。

66年、先生は蔵書の中から洋書  
1316冊、和書1078冊を神大

図書館に寄贈され(私たち同期や後  
輩ゼミ生が苦勞して図書館に運び込  
んだ)、現在も「山口文庫」と呼ばれる  
貴重書は図書館の貴重コレクションの  
出発点となっている。

インフレもデフレも発生しない資金  
供給が、円滑な経済活動に結び付く  
という先生の教えが原点にある。私  
が卒業した頃、政府が戦後の赤字国  
債発行に傾いた時、「将来に禍根を残  
す」と危惧されていた。そして「日  
銀の独立性」遵守や国債の「市中消  
化の原則」の建前が改正され、国債



最後の「久木の会」に集まったゼミ仲間(前列左から2人目が筆者)



の日銀引き受けとなる。最近の政府による大量の国債を発行する状況に歯止めがかからない。同時に、長きにわたる異次元の低金利政策は理解に苦しむ。現状は混沌とし、日銀が政策決定に機敏に対応することが困難となっている。今を知ったら、先生はなんと言われるだろうか。

全国規模の久木の会は今回で最後になったが、関東地区の仲間たちとは会の「灯」を守るべく運営する。先生の多くの貴重な教えは、私たちゼミ生にとっては「永遠に不滅」である。

## 第6期少林寺拳法部 同期会を開催

石川県 坂本 啓章 (76歳)

1970(昭和45)年経済学部  
経済学科卒業

私は、昭和41年入学の神大少林寺拳法部第六期生です。卒業後、幹事を交代しながら、全国で同期会を開いて来ました。随分前に部活動が休止し、OB会も自然消滅してしまい、寂しい思いをしておりました。が、このたび、6年ぶりに横浜市の中華街「清香園」に5月28日、11人が集まり、後輩が大学から借りてくれたカセットテープやCDに合わせて、校歌や応援歌、逍遙歌の大合唱をすることが叶

いました。翌朝の別れ際に「また会おう」と言い合い、本当に若返った思いの1日となりました。



前列左端が筆者

### 神奈川大学学生団体が

『Giving Campaign 2024』に参加!!

10月11日(金)~20日(日)

後輩の活動に“いいね”をお願いします



#### ※Giving Campaign 2024とは

- ・全国の50大学以上が参加予定のオンライン・チャリティーイベント
- ・多くの課外活動団体が活動を知ってもらうために参加予定
- ・いいね(応援票)の投票結果で協賛企業から活動資金が支援されます
- ・特定の団体への寄付や応援メッセージを送ることも可能です(イベントの詳細は、9月以降の神奈川大学HPでお知らせします)

Giving Campaign

検索

### 漫画研究部

1969(昭和44)年に始まった漫画研究会は「六角橋コミック」や「ウィークエンド」などの部誌を制作することを第一に活動してきました。漫画研究部になっても同じです。コロナによる活動縮小を乗り越え、時代は変われども漫画は漫研らしく活動中。現在の活動はX(旧Twitter)やInstagramの公式アカウントで確認出来ます。「ミックマーケットや神大フェスタなどイベントにも参加予定。ぜひお越しください。また、過去の部誌の寄贈も募っています。詳しくはQRコードで。」



漫画研究部 QR



X(エックス)QR



Instagram QR

### 宮陵会主催「秋の講演会」

▽日 時/10月12日(土)午後2時開演(午後1時半開場)

▽会場/宮陵会館(横浜キャンパス30号館)

▽演 題/「我が国の観光・宿泊業界の現在と将来」

—海外富裕層ビジネスの本質と今後の施策、国の目指すべき方向性—

▽講 師/末吉孝弘氏(パレスホテル事業開発部エグゼクティブオフィサー、神奈川

大学評議員、1985(昭和60)年法律卒)

▽入 場/無料(申し込みはQRコードからお願いします。FAXもしくはメールの場合

は氏名・卒業年・学科・電話番号をご連絡ください。)

FAX 045-413-0791

メール kyuyou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

### 神奈川大学音楽祭 in セレストホール

主催|| 神奈川大学埼玉宮陵会

協力|| 神奈川大学千葉宮陵会

協賛|| 一般社団法人神奈川大学宮陵会

▽日 時/10月6日(日)午後1時~午後5時40分(午後零時半開場)

▽会場/神大横浜キャンパス「セレストホール」

▽出演団体/ギターアンサンブル部、フロイデコールレジエント宮陵会、

カレッジサウンズオーケストラ、神大管弦楽団、チアリーディング部 Wings、

マンドリンアンサンブルハマロク&神大マンドリンアンサンブル、

横浜・みなとみらい軽音楽部

▽入 場/無料

▽問い合わせ/埼玉宮陵会事務局・石田(090-9895-5693)

お申し込みはこちら



## 宮陵会 掲示板

## 表

紙絵は、過去と未来が融合され、神大の校歌や歌詞も表現されているように感じられ、創立100周年を迎えるに相応しい表紙だと感動しました。

（神奈川県、93年建築卒）

## 過

去から未来へ」の特集記事が素晴らしかった。写真の多用も、その時代を映し重みがあった。中央下段に青い帯で歴史を説明する文章を入れるなど、ひと工夫が施されていて読み易かった。なかんずく小生の胸を打ったのは、41頁右下の「大学正門と事務棟」の写真。あの写真の6年後の59年が入学で、当時から全く変わらぬ情景が映っていた。あの大学名の入った門柱の前で、学友と写真を撮り合った頃を思い出します。実に懐かしい写真でした。

（三重県、63年機械卒）

## 全

国の地域組織の宮陵会の写真が多く、仲間が全国にいてくれることをたいへん嬉しく思います。

（神奈川県、15年情報創成卒）

## 神

大グッズの広告を見て、先日購入しました。次号も楽しみにしています。

（東京都、14年自治行政卒）

## 行

政書士宮陵会設立に関心があり、HPなどあれば教えてほしい。

（広島県、91年法律卒）

## 大

学の研究所から誕生したコスメ気になる。気軽に近くで購入できると嬉しい。

（東京都、22年経工卒）

## 昨

年みなとみらいキャンパスを訪問しましたが、全体を見学できませんでした。『宮陵』がHPから閲覧できるとは知りませんでした。郵送料が高騰していくことでしょうか。ネット操作ができない環境にいる方や高齢者に限った郵送でいかかでしょうか。HPでの閲覧で構いませんが、更新時にはメールなどで連絡いただきたい。紙媒体の方が閲覧の可能性は高いと思いますが、媒体自体が無くなってしまうことが一番心配です。

（山形県、16年国際経営卒）

## 各

地区の宮陵会の集まりにどのようなしたら参加できるのでしょうか。

（新潟県、04年応用化学卒）

## 宮

『宮陵』が届くと、いつも懐かしさとワクワク感が入り混じる。特集「過去から未来へ」は、幾多の困難を乗り越え現在に至っていることが分かり感銘した。

（千葉県、88年経済卒）

## 毎

号楽しみにしています。母校の話題には、常にアンテナを張っております。

（東京都、22年経工卒）

## 全

国の地域組織の多さを知り、それぞれが活動されているのに感銘を受けた。

（新潟県、04年応用化学卒）

## 卒

業以来、毎回楽しく読ませていただいている。地域組織の写真に旧友がいないか気になった。大学の規模の大きさ、学生数の多さ、卒業生の活躍は素晴らしい。

（神奈川県、68年機械卒）

注目の成分  
シリカを多く含む  
三瓶山の天然水

天然シリカが  
1ℓに70mg

山陰クボタ水道用材株式会社 〒690-0038 鳥根県松江市平成町182-15 TEL 0120-837-014

ネットでのお申し込み <https://sahime.jp>



ご意見  
お聞きしたい  
皆さまのご意見を  
お聞かせください

宮陵会広報委員会では、『宮陵会報』（年2回、住所の分かる卒業生全員）や『宮陵』（年1回会費を納入されている卒業生全員）の発行を行っております。昨今あらゆる業界でコスト面への影響が懸念されています。そこで、少しでも郵送費の削減ができないかを検討するため、アンケートを実施することにしました。次のいずれかの方法でご回答くださるようお願い申し上げます。

▽回答期限

2024年9月30日(月) 17:00

▽回答方法

① WEB フォーム

(<https://forms.gle/hi9gFjG2RTRtquSB6>)

回答フォーム  
QRコード



② E-mail ([kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp](mailto:kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp))

③ FAX 045-413-0791

④ はがき 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

神奈川大学宮陵会広報委員会アンケート係

1. 広報誌を宮陵会のホームページから閲覧できることをご存知でしたか。

- ① ホームページで見たことがある。
- ② 知っていたが見たことはない。
- ③ 知らなかった。

2. 広報誌の閲覧について。

- ① ホームページからダウンロードする。
- ② 郵送を希望する。
- ③ その他。

3. あなたの年代を教えてください。

- ① 20代 ② 30代 ③ 40代
- ④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代
- ⑦ 80代以上

## 神大スポーツサイト リニューアル



「神大スポーツ」と「アスレティックデパートメントオフィシャルサイト」が統合し、神大の総合スポーツサイトが誕生!

<https://sports.kanagawa-u.ac.jp/>



いますぐチェック!



スマートフォンでも見やすくなりました!

## ホームカミングデー2024

卒業後、節目の年を迎える皆様をキャンパスお迎えいたします。懐かしい旧師・旧友との楽しいひと時をお過ごしください。

開催日時：2024年11月10日(日)  
会場：横浜キャンパス

※ 詳細については、9月上旬に神奈川大学ホームページに掲載します。

●対象者

- ①卒業後1-10年  
(2014(平成26)年~2024(令和6)年3月、9月卒業)
- ②卒業後20年(2004(平成16)年3月、9月卒業)
- ③卒業後30年(1994(平成6)年3月卒業)
- ④卒業後40年(1984(昭和59)年3月卒業)
- ⑤卒業後50年(1974(昭和49)年3月卒業)

ホームカミングデー実施事務局(総務部校友課)  
[sotsugyo-info@kanagawa-u.ac.jp](mailto:sotsugyo-info@kanagawa-u.ac.jp)

